10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	◎	その他専門店［酒］（経営者）	・年末商戦により、売上は増加するとみられる。
	○	一般小売店［生花］（経営者）	・下見や、イベントより早めに予約注文する客もみられ、客数は増加している。
	○	衣料品専門店（経営者）	・気温も下がり、アウター関係の販売が増加するとみられる。
	○	家電量販店（店員）	・光熱費の上昇により、省エネ製品への買換えに興味を示す客が増えている。冬のボーナスでの買換え需要により、売上は増加する。
	○	タクシー運転手	・年末のイベント等により、良くなるとみられる。
	○	通信会社（営業担当）	・来客数に大きな変動はないが、大型家電の購入が減少している。年末年始やボーナスシーズンでの、購入意欲の増加が期待できる。
	○	通信会社（営業部長）	・年末年始は年度末と並ぶ大きな商戦期であり、来客、販売数は増加するとみられるが、物価上昇の影響により、昨対比で大きく伸びる要素は見当たらない。
	○	観光遊園地（主幹）	・国際線の新規就航が予定されており、インバウンドの増加が見込まれている。
	□	商店街（代表者）	・年末に向け、イベントが多く、客の増加が見込める。しかし、販売単価や買上点数は減少し、現状程度で推移するとみられる。
	□	商店街（代表者）	・物価や原材料価格の上昇が継続し、厳しい状況が続くとみられる。
	□	商店街（代表者）	・商店街の空き店舗を売買する動きがみられるが、不動産取得が目的で購入した先が商売をするケースは少ない。
	□	商店街（常務理事）	・商品やサービス価格の改定は毎月、多数の品目で行われており、この傾向は今後も続くとみられる。消費者の節約志向が強まっているが、旅行、レジャー等の消費については拡大の傾向にあるとみられる。
	□	一般小売店［文具店］（経営者）	・仕入価格の上昇については、落ち着きをみせている。年末や年度末に向けての見積り依頼はあるが、売上は前年並みの水準になるとみられる。
	□	百貨店（企画担当）	・年末年始の商戦において、季節商材の売上増加が見込まれる。一方、食料品を始めとする物価の上昇が続いており、客の生活防衛意識は根強く、日常の買物では必要な物を厳選する傾向が続くとみられる。景気の基調としては大きく変わらないとみられる。
	□	百貨店（企画担当）	・先行きに不透明さがある。
	□	スーパー（店長）	・競合他社の販売促進施策の影響があるが、その他に自社の売上に影響を与える要因は見当たらない。
	□	スーパー（企画担当）	・単価が上昇し、他業種の出店も続いているため顧客の争奪戦は継続していくとみられる。
	□	スーパー（企画担当）	・物価の上昇により、より節約志向が高まるとみられる。
	□	スーパー（財務担当）	・客数は減少するが、客単価が増加する傾向が続くとみられる。
	□	コンビニ（店長）	・良くなる理由はなく、現状と変わらないとみられる。
	□	コンビニ（総務）	・客単価自体はインフレの影響により上昇するが、来客数は減少する。来客数の回復がなければ、売上改善が見込めない。
	□	コンビニ（商品担当）	・単価の状況は変わらないとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・暖冬の影響により、厳しい状況が続くとみられる。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・客の様子からは、景気が改善する気配は乏しく、厳しい環境が続くとみられる。
	□	家電量販店（副店長）	・光熱費の上昇や値上げ等の影響で、良くなる見込みがない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・物価や金利の上昇や車両価格の高止まりにより、客の購入負担感は強く、慎重な購買姿勢が続いている。
	□	乗用車販売店（役員）	・世の中の動きが不安定である。

	□	乗用車販売店（営業担当）	・人気車種の受注停止に加え、車両価格や金利の上昇等が購入に影響を与えている。販売環境は厳しい状況が続くとみられる。
	□	一般レストラン（経営者）	・飲食店の閑散期であり、年末に向け予約は増えてほしいが、時勢から団体予約は少ないとみられる。
	□	観光型旅館（経営者）	・宿泊予約者の推移より、客単価や稼働率の上昇が見込まれる。
	□	都市型ホテル（経営者）	・状況が改善されるかどうか不透明である。人手不足、最低賃金引上げによる中小企業の経営意欲低下が懸念される。
	□	通信会社（営業部長）	・中東情勢の影響による原油価格や原材料価格の上昇が継続するとみられる。
	□	設計事務所（所長）	・設備投資について、建築費の上昇により建設を中止する企業が出てきている。
	▲	一般小売店［鞄］（経営者）	・物価の上昇により、購買率が低下するとみられる。
	▲	スーパー（統括担当）	・来客数減少とともに、客単価も減少傾向にある。
	▲	その他小売［ショッピングセンター］（館長）	・客数が少なくなる時期であり、売上は減少するとみられる。
	▲	旅行代理店（部長）	・人材不足や物価上昇の影響が懸念される。
	▲	美容室（経営者）	・商品の買い控えや来店頻度の減少がみられる。特に子育て世代の客からは生活の不安に対する話が多い。
	×	コンビニ（店長）	・値上げが継続する中、電気料金等も上昇し、家計を圧迫するため、消費意欲は低下し、更に厳しくなるとみられる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・物価上昇の影響がある。
	×	美容室（経営者）	・生活必需品以外への消費意欲が低下している。
企業動向関連 （四国）	◎	－	－
	○	繊維工業（経営者）	・一部の小売店では厳しい状況が続いているが、インバウンド向けの商品展開やネット販売に力を入れている小売店は順調に推移しており、今後しばらくはこの状況が続くとみられる。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・中東情勢の影響による価格転嫁が完了して下期は利益面で改善する。受注量も増加し、業績は良くなる。
	○	不動産業（経営者）	・住宅メーカー等による商品土地仕入れが活発化するとみられる。
	□	食料品製造業（経営者）	・最低賃金引上げによる人件費、労務費上昇や電気料金の値上げを、製品価格に転嫁できず、利益が減少することが予想される。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・原材料価格の上昇分について販売価格の値上げを実施したが、その反動で販売数が減少している。物価の上昇が継続すれば、更なる値上げを検討する必要がある。
	□	化学工業（所長）	・中東情勢の影響により、先行きが不透明である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・企業は積極的であり、改善したいという意識が強い。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・前月同様、国際情勢について大きな変化もなく、国内経済も物価の上昇や為替の動向に変化がない。
	□	建設業（経営者）	・設備投資は堅調に推移しているが、住宅購入者の買い控えが継続している。
	□	通信業（総務担当）	・年末及び年度末へ向けて、受注見込み案件の積上げが進んでいない。
	□	通信業（企画・売上管理）	・目新しいトピックがなく、現状程度で推移するとみられる。
	□	広告代理店（経営者）	・人材不足に伴う採用関係の仕事は、製造業を中心に増えている。一方、小売流通関係の客先は、エネルギー等の諸経費上昇の影響もあり、販売促進広告関係は削減傾向である。
	□	税理士事務所	・最低賃金の上昇による経費増加の影響があるとみられる。
	▲	食料品製造業（商品統括）	・中東情勢の影響による価格上昇がみられる。消費者は、食料品の値上げに対し、厳しい目を向けており、販売状況は厳しい状態が続くとみられる。
	▲	建設業（経営者）	・民間工事は少なく、公共事業頼りである。
	▲	輸送業（経営者）	・先行きに不安感がある。
	▲	金融業（副支店長）	・政策金利の上昇により、住宅関連の建築需要や住宅ローンの取扱件数等に減少の動きがみられる。
	×	－	－

雇用関連 （四国）	◎	－	－
	○	－	－
	□	人材派遣会社（総務部長）	・最低賃金引上げにより、業界全体が冷え込むとみられる。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・年末年始に向け、求職者の動きはあるだろうが、長期や正社員雇用についての需要は、変化がみられない。
	□	新聞社［求人広告］（担当者）	・客からは、厳しい状況が続くという話を聞くことが多い。
	□	職業安定所（求人開発）	・資材価格の上昇を販売価格へ転嫁する企業は多い。現状程度で推移するとみられる。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・ＡＩの普及により、事務職求人数は減少傾向であるが、外国人の高度人材については需要が多い。全体的には買手市場になるとみられる。
	□	学校［大学］（就職担当）	・構造的な人手不足は変わらない。収益面において、原材料価格の上昇で、不透明感が出てきている。
	▲	人材派遣会社（オフィス責任者）	・情報漏えいのリスク等により保守的な動きが中心になるとみられる。
	▲	求人情報誌（営業）	・特定の業種、職種では人材が充足せず、人手不足感は変わらない。しかしながら、全体の求人倍率は減少し、景気の悪化を実感する機会が増えるとみられる。
	×	－	－